

前期売上高703億円

非鉄金属堅調 好業績を維持



川嶋代表

【浜松】非鉄総合商社、川嶋（浜松市西区）を中心とする川島グループ（川嶋義勝代表）は、2019年3月期

（18年度）の連結決算が売上高で703億円前後、経常利益で34・8億円前後となったことを明らかにした。

グループ各社の決算時期に差異があるため概算での数字になるが、全体としてほぼ前期並みを維持し、堅調に推移した。非鉄金属事業が堅調に推移した

ほか、非金属事業も好調を維持したことが好業績の維持につながった。

同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジ

ヤ、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。

18年度は主力事業であるアルミ二次合金事業などをはじめとする非鉄金属事業が堅調に推移した。積極的に設備投資を行い、サッシ・ロサッシなどでリサイクル選別技術を高めたことなどが貢献した。アルミ相場は弱含んだものの、需要は年

度を通じてハイレベルな水準で推移し、生産も高水準を保ったことなどが背景にある。また、シニアカーなどの製造、販売などを手掛ける電動カート事業も堅調推移していたほか、ゴルフなどのレジャー事業も安定した成績を保持したことが結果につながっている

った。その結果、売上高、経常利益ともに前

期並みの好成績を残した。